
一般社団法人 WIND

【女性の健康と医療を守る医師連合】

第 30 回 理事会



2022(令和4)年11月3日(木・祝)

会場：北海道大学大学院医学研究院会議室



一般社団法人WIND 第30回理事会 プログラム

【 2022 (令和4) 年1月3日 (木・祝) 10:00 から 12:00 】
会場：北海道大学大学院医学研究院会議室

1. 開会の辞
2. 議長（代表理事）挨拶
3. 議題等

報告事項

- (1) 理事就任辞退について (資料1)
- (2) 令和4年度上半期総務報告
 - ① 法人社員数報告 (資料2)
 - ② 事業報告 (資料3)
 - ・ 研修医勧誘補助について (資料3-2)
- (3) 令和4年度上半期会計・決算報告
 - ① 会費収納状況報告 (資料4)
 - ② 予算実施状況報告 (資料5)
- (4) その他

議 題

- 第1号議案：令和4年度下半期事業予定について (資料3)
- 第2号議案：来年度総会会場及び時期について
- 第3号議案：来年度ハンズオンセミナー会場及び時期について
- 第4号議案：その他
 - ・ 5月以降人事について (資料6)
4. その他
 - ① HOPPIE事務局について (資料7)
 - ② 次回理事会開催日
5. 閉会の辞

一般社団法人WIND 役員名簿（代表理事、理事、監事）

【理 事】

任期：令和4(2022)年5月7日から令和6(2024)年度定時社員総会まで

	役 職 名	氏 名	所 属	選任基準	選任区分
1	代表理事 常任理事（無任所）・審査委員	渡利 英道	北海道大学大学院医学研究院	第3条②	大学教授
2	常任理事（総務）・審査委員	工藤 正尊	北海道大学大学院医学研究院	第3条②	大学准教授
3	理事（総務）	大久保 仁	札幌マタニティ・ウイメンズホスピタル	第4条	代表理事推薦 （関連病院院長）
4	理事（総務）	山田 俊	JCHO北海道病院	第3条①	札幌
5	理事（総務）	蝦名 康彦	北海道大学大学院保健科学研究院	第3条②	大学教授
6	常任理事（会計）・審査委員	奥山 和彦	市立札幌病院	第4条	代表理事推薦 （関連病院元部長）
7	理事（会計）	平山 恵美	市立札幌病院	第3条③	センター教育病院
8	理事（会計）	小林 範子	北海道大学病院	第3条⑥	女性医師
9	常任理事（学術）・審査委員	加藤 秀則	北海道がんセンター	第4条	代表理事推薦 （関連病院院長）
10	理事（学術）	金内 優典	小樽市立病院	第3条④	後志
11	理事（学術）	西 信也	KKR札幌医療センター	第3条①	札幌
12	理事（学術）	見延進一郎	北海道がんセンター	第3条③	センター教育病院
13	理事（学術）	勘野 真紀	王子総合病院	第3条①	日胆
14	常任理事（研修）・審査委員	和田真一郎	手稲溪仁会病院	第3条③	センター教育病院
15	理事（研修）	長 和俊	北海道大学病院	第3条②	周産母子センター准教授
16	理事（研修）	香城 恒磨	札幌厚生病院	第3条①	札幌
17	理事（研修）	山下陽一郎	砂川市立病院	第3条①	空知
18	理事（研修）	服部 理史	帯広厚生病院	第3条③	センター教育病院
19	理事（研修）	光部兼六郎	旭川厚生病院	第3条③	センター教育病院
20	理事（研修）	片岡 宙門	函館中央病院	第3条③	センター教育病院
21	理事（研修）	玉城 良	北海道大学病院	第3条⑤	若手医師
22	常任理事（広報・渉外）	東 正樹	釧路赤十字病院	第3条③	センター教育病院
23	理事（広報・渉外）	藤本 俊郎	苫小牧市立病院	第3条①	日胆
24	理事（広報・渉外）	鈴木 賀博	網走厚生病院	第3条④	北見網走
25	理事（広報・渉外）	藤枝 聡子	天使病院	第3条①	札幌
26	理事（広報・渉外）	良川 大晃	北海道大学病院	第3条⑤	若手医師

【監 事】

任期：令和2(2020)年5月23日から令和6(2024)年度定時社員総会まで

	役 職 名	氏 名	所 属
1	監 事	津村 宣彦	市立千歳市民病院
2	監 事	佐藤 博	江別市立病院

2022年度（令和4年度） 社員数報告

□ 施設社員		30施設		前年度末 30施設								
□ 個人社員										北大及び勤務先空白を除く		
年度	前年度繰越	加入	退会	年度末(現在)数	年度末退会	退 会 者 氏 名	女性社員数	女性構成比	関連病院数	関連病院配置数	平均配置数	
2008 (H20) 年度	126	2	0	128	1	・ 年度末：守谷修而	25	19.5%				
2009 (H21) 年度	127	7	0	134	2	・ 年度末：山田秀人、山口正幸	26	19.4%				
2010 (H22) 年度	132	9	1	140	2	・ 蝦名康彦（8月から） ・ 年度末：大河内俊洋（施設会員へ）、志賀重之	29	20.7%				
2011 (H23) 年度	138	12	1	149	1	・ 鈴木俊也（1月から） ・ 年度末：川口 勲	33	22.1%				
2012 (H24) 年度	148	11	1	158	1	・ 林 正路（7月から） ・ 年度末：森 尚子	38	24.1%				
2013 (H25) 年度	157	4	4	157	2	・ 半田 康（5月から） ・ 羽田健一、遠藤浅香（10月から） ・ 有賀 敏（2月から） ・ 年度末：金内優典、大石理恵	36	22.9%				
2014 (H26) 年度	155	2	4	153	5	・ 角田敬一（6月から） ・ 酒井慶一郎（7月から） ・ 津村典利（8月から） ・ 田畑光恵（1月から） ・ 年度末：奥きくお、晴山仁志、村本勤、林正路、中郷賢二郎	35	22.9%	27	108	4.0	
2015 (H27) 年度	148	7	1	154	5	・ 福本 俊（3月から） ・ 年度末：石郷岡哲郎、坂本綾子、中陣欣也、斉藤 洋、高後裕子	37	24.0%	27	101	3.7	
2016 (H28) 年度	149	9	0	158	2	・ 年度末：田中俊誠、水上尚典	37	23.4%	27	104	3.9	
2017 (H29) 年度	156	7	5	158	1	・ 佐々木隆之、及川 衛（6月から） ・ 横尾洋一（9月から） ・ 谷垣 学（10月から） ・ 佐藤 力（2月から） ・ 年度末：石川聡司	37	23.4%	27	101	3.7	
2018 (H30) 年度	157	3	1	159	3	・ 桑島一彦（10月から） ・ 年度末：岩城雅範、岩城豊、岩城久留美 公立芽室病院	38	23.9%	27	107	4.0	
2019 (H31) 年度	156	8	1	163	0	・ 計良光昭（1月から） ・ 月寒グロリアクリニック（5月から）	41	25.2%	25	103	4.1	
2020 (R02) 年度	163	3	2	164	3	・ 田畑産婦人科（5月から） ・ 花谷 馨（5月から） ・ 相澤貴之（6月から） ・ 年度末：森川 守、菅原照夫、敦賀律子	43	26.2%	25	101	4.0	
2021 (R03) 年度	161	8	3	166	3	・ 奥 聡、佐治ひな子(7月から) ・ 平島功二(8月から) ・ 年度末：杉山英智、古田伊都子、日沖友香	47	28.3%	25	108	4.3	
2022 (R04) 年度	163	8	2	169		・ 関敏雄(6月から) ・ 吉田博(7月から)	49	29.0%	25	109	4.4	
計		100	26		31							

令和4年度 W I N D事業計画

※ 実施済みの事業はアンダーラインを付しています。

具体的な事業

1. 産婦人科医師数増加のための対策

- * 第13回ハンズオンセミナー（6/18 北大クリニカルシミュレーションセンター）
北大産婦人科・W I N D研修説明会（5/25 web 開催）
- * 初期研修医へのアプローチ（関連病院、大学）：若手委員会主催交流会の開催
- * 国家試験慰労会（3月下旬）
- * 支援学会等における託児補助

2. 産婦人科専門医取得のための研修プログラムの充実

- * 研修発表会（1/21 北大医学部フラテホール）

3. 臨床研究並びに臨床試験の質的向上への協力

- * 臨床試験促進のための支援
- * 新規研究計画に対する助成

4. 法人会員教育への支援

- * 学会発表者への支援
- * 周産期遠隔医療システム
- * 学会参加補助

5. 情報発信

- * W I N Dホームページ
- * W I N Dニュース第7号

6. 学会支援

- * 第40回北海道思春期研究会（6/26 WEB 開催）
- * 第19回北海道周産期談話会（7/2 札幌医大記念ホール）
- * 第11回北海道産婦人科乳腺医学会学術集会（10/23 WEB 開催）
- * 第52回北海道母性衛生学会（10/29 北大学術交流会館）
- * BLS0（BLS0 プロバイダー 浦河） 日程未定
- * ALS0（札幌 ALS0 プロバイダー 11/22, 11/26 又は 11/27 手稲溪仁会病院）
- * 第65回北海道生殖医学会総会・学術講演会（2/4 北大医学部フラテ特別会議室）

7. その他

- * W I N D総会（5/7 ニューオータニイン札幌）オンライン開催
- * 同門会・W I N D合同忘年会（12/17 札幌パークホテル）
- * 教室百周年記念式典準備委員会

2022（令和4）年度 研修医勧誘補助予算配分

資料3-2

2022（R4）

1 5 1 P:ポイント

		配分区分	研修医	新入社員	コア科実習学生	総P	係数	比例配分額 (万円)	基礎配分額 (万円)	基本配分額 (万円)	配分先 (敬称略)	端数整理後 配分額 (円)	既配分額 (2021(R3) 年度末 未使用)	端数調整 決済分	調整後 送金額	配分 決算額	
1	手稲溪仁会病院	○	21		6	27	0.08	16.62	+	6.67	= 23.28	和田真一郎	230,000		230,000	230,000	
2	帯広厚生病院	○	20	3	5	40	0.12	24.62	+	6.67	= 31.28	服部 理史	310,000	53	△ 53	310,000	310,053
3	札幌厚生病院	○	13		7	20	0.06	12.31	+	6.67	= 18.97	香城 恒麿	190,000	210,000			210,000
4	砂川市立病院	○	8.5	2	3	21.5	0.07	13.23	+	6.67	= 19.90	津田加都哉	200,000	3,702	298	196,000	199,702
5	旭川厚生病院	○	15		14	29	0.09	17.85	+	6.67	= 24.51	光部兼六郎	250,000	43,658	342	206,000	249,658
6	天使病院	○	10		6	16	0.05	9.85	+	6.67	= 16.51	藤枝 聡子	170,000	63,570	430	106,000	169,570
7	釧路赤十字病院	○	13	1	5	23	0.07	14.15	+	6.67	= 20.82	東 正樹	210,000			210,000	210,000
8	王子総合病院	○	9	1	8	22	0.07	13.54	+	6.67	= 20.21	勘野 真紀	200,000	51,824	176	148,000	199,824
9	市立札幌病院	○	6	1	7	18	0.06	11.08	+	6.67	= 17.74	平山 恵美	180,000	20,170	△ 170	160,000	180,170
10	八雲総合病院	○	2			2	0.01	1.23	+	6.67	= 7.90	白銀 透	80,000			80,000	80,000
11	函館中央病院	○	6	2	5	21	0.06	12.92	+	6.67	= 19.59	片岡 宙門	200,000	230,005			230,005
12	KKR札幌医療センター	○	8		6	14	0.04	8.62	+	6.67	= 15.28	西 信也	150,000	48,488	△ 488	102,000	150,488
13	苫小牧市立総合病院	○	10	1	3	18	0.06	11.08	+	6.67	= 17.74	藤本 俊郎	180,000	14,250	△ 250	166,000	180,250
14	小樽市立病院	○	16		2	18	0.06	11.08	+	6.67	= 17.74	金内 優典	180,000	170,000		10,000	180,000
15	JCHO北海道病院	○	7.5	1	5	17.5	0.05	10.77	+	6.67	= 17.44	山田 俊	170,000	120,058	△ 58	50,000	170,058
16	網走厚生病院				4	4	0.01	2.46	+		= 2.46	鈴木 賀博	20,000			20,000	20,000
17	市立千歳市民病院				2	2	0.01	1.23	+		= 1.23	越田 高行	10,000	10,000			10,000
18	札幌マタニティウイ メンズホスピタル				6	6	0.02	3.69	+		= 3.69	高後 裕匡	40,000	57,178			57,178
19	倶知安厚生病院								+		=	早川 和彦	50,000			50,000	
20	江別市立病院			1	1	6	0.02	3.69	+		= 3.69	中郷賢二郎	40,000	92,582			92,582
21	北海道がんセンター								+		=	加藤 秀則					
	合 計	15	165	13	95	325	1.00	200	+	100	= 300		3,010,000	1,185,538	227	1,994,000	3,179,538

※研修医勧誘補助配分の計算について

- ①各病院へ研修医及びコア科実習学生の受入延べ月数を問合せました。
研修医数及びコア科実習学生の空欄は、値が「0」又は回答のない病院の場合です。
- ②予算の1/3（100万）をまず、研修医を指導する病院数（15施設）で割った6.67万を基礎配分額としました。
- ③今年度新入社員+前年度新入社員で初期研修の場合は当該施設の研修医数に5ポイントを付し、研修医及びコア科実習学生の延べ月数を1ポイントとして計算し、各施設のポイントを算出しました。
- ④総Pの合計（325ポイント）で各施設のポイントを割った係数に予算の2/3（200万円）を乗じて得た比例配分額に基礎配分額を加え基本配分額を決定しました。

※勧誘費の使い方に関しては、配分先病院医長の先生方に一任します。

- ①会議費は参加者一人当たり7,000円（消費税を含む場合は 7,000円＋消費税分）までです。
- ②新型コロナウイルスの感染症予防のため会食等ができない状況から、補助範囲を会議費以外の経費に広げて使用することが可能です。
- ③領収書はWIND名で必ずをお取りになって下さい。なお、会議費で使用的場合には参加者数内訳も記載しておいて下さい。

資料4

4月	5月	6月	7月	8月	9月		上半期 合計
30	30	30	30	30	30		180
171	171	170	169	169	169		1,019
201	201	200	199	199	199		1,199

4月	5月	6月	7月	8月	9月	免除	上半期 合計
40.0	40.0	1,360.0	40.0	40.0	40.0		1,560.0
85.5	85.5	85.0	84.5	84.5	84.5		509.5
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
125.5	125.5	1,445.0	124.5	124.5	124.5		2,069.5

[illegible]

2022(令和4)年度 W I N D 事項別収支(中間)報告書

収入の部

科 目	4年度予算	実績	増減	備 考
ウィンド会費	28,810,000	19,925,000	-8,885,000	・ 5000*12*171+600000*30+550000
雑収入	10,000		-10,000	
寄付				
利子	668	151	-517	
前年度繰越額	37,965,332	37,530,332	-435,000	・ 会費未収 : 435,000 【資本金300万円を含む】
総 計	66,786,000	57,455,483	-9,330,517	

支出の部

科 目	4年度予算	実績	増減	備 考
事業費	12,350,000	1,850,812	10,499,188	
学生研修医費用	5,500,000	969,657	4,530,343	・ 実習学生・研修医リクルート
会議費	2,500,000	711,858		・ 学生、初期研修医学会出席関係
消耗品費	1,000,000			・ 学生等勧誘費
交通通信費	500,000	257,799		
研修用機材・器具等	1,500,000			・ 分娩シミュレーター、ゼリー
研修医リクルート関連	4,800,000	551,155	4,248,845	
研修説明会	300,000			
関連病院補助	3,000,000	219,232		
ハンズオンセミナー	1,000,000	331,923		・ 北大クリニカルシミュレーションセンター
全国募集活動	500,000			ニューオータニイン
WINDニュース刊行費	500,000		500,000	
ホームページ関連	700,000	330,000	370,000	・ http://www.wind.or.jp/
WEB会議関連	500,000		500,000	・ Zoom年会費
スポーツ大会参加費	350,000		350,000	
補助費	19,000,000	1,479,118	17,520,882	
教室学術研究費	5,000,000	373,739	4,626,261	
社員研修・教育補助	2,000,000		2,000,000	・ 海外研修、教育等
主催学会準備金	5,000,000	617,889	4,382,111	・ 道リンパ浮腫診療ネットワーク (50:39739)
研究助成	3,000,000	282,170	2,717,830	・ 道周産期談話会 (0:378150)
学会発表補助	4,000,000	205,320	3,794,680	・ 道母性衛生学会 (0:100000)
会議費	2,000,000	267,750	1,732,250	・ ALSO・BLSO (50:)
WIND会議費	1,000,000	127,520	872,480	・ 第65回道生殖医学会総会・講演会 (0:0)
総会費	1,000,000	140,230	859,770	・ 道思春期研究会 (20:100000)
会場費等	500,000	59,430		・ 北産婦業務委託費(30:)
印刷・消耗品費	200,000			・ 学会発表補助 (学会参加補助を含む)
交通通信費	200,000	80,800		
雑費(謝金含む)	100,000			
事務費	10,910,000	4,790,408	6,119,592	
事務局費	9,910,000	4,769,888	5,140,112	
業務委託費	8,000,000	4,080,000		・ 弁護士顧問料(19.8万円)、社会保険料、消費税
家賃	570,000			
水道光熱費	90,000	36,407		
印刷・消耗品費	600,000	490,640		・ 事務局PC 2台更新
通信費	300,000	47,176		
交通費	150,000	24,750		
雑費	200,000	90,915		・ 北洋ダイレクト使用料
慶弔・福利厚生費	500,000		500,000	
交際費	500,000	20,520	479,480	・ 中元・歳暮、寄付等
租税公課	180,000	70,000	110,000	・ 法人税、理事変更登記料、女性アスリート会費等
予備費	22,346,000		22,346,000	【百周年：1500万円、資本金：300万円を含む】
総 計	66,786,000	8,458,088	58,327,912	

2022(令和4)年度 WIND決算(中間)報告書

貸借対照表

(2022(令和4)年9月30日現在)

(単位:円)

項 目	金 額	項 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	45,783,236	仮受金(前受金・預かり金)	100,000
未収会費(本年度分)	905,000	前受会費(下半期分)	135,000
未収会費(前年度分)	435,000	未払い法人税	
未収金(関連病院)	3,019,538	仮受金(北産婦)	
学会立て替え等		未払金(教室研究費)	373,739
BLSO立て替え	20,360	前年度繰越預り金	
仮払金(北産婦業務委託)	648,000	流動負債合計	608,739
流動資産合計	50,811,134	負債合計	608,739
固定資産		(正味財産の部)	
有形・無形固定資産		正味財産	
固定資産合計		基金	3,000,000
繰延資産		次期繰越収支差額	47,202,395
		前期繰越収支差額	34,965,332
		当期収支差額	12,237,063
		正味財産合計	50,202,395
資産合計	50,811,134	負債及び正味財産合計	50,811,134

損益計算書

〔 自 2022(令和4)年4月 1日
至 2022(令和4)年9月30日 〕

(単位:円)

項 目			金 額	
経常収支の部	事業活動の部	会費収入		20,695,000
		事業活動費用		8,458,088
		事業活動収支計		12,236,912
	事業外収支の部	事業外収入	151	
		受取利息 雑収入		
		事業外収支計		151
	経常収支差額			12,237,063
特別損益の部	特別損失			
	特別損失合計			
税引き前当期収支差額				12,237,063
法人税及び住民税				
当期収支差額				12,237,063

2022(令和4)年度 WIND 決算(中間)報告書

合計残高試算表

借 方		勘定科目	貸 方	
残 高	合 計	流動資産	合 計	残 高
101	45,783,236	58,930,713	預金・現金	13,147,477
103	648,000	648,000	仮払金(北産婦業務委託)	
104		1,404,770	前年度未収金(関連病院)	1,404,770
105	905,000	20,695,000	未収会費(本年度分)	19,790,000
106	3,019,538	3,238,770	仮払金(勧誘補助)	219,232
107	435,000	605,000	未収会費(前年度分)	170,000
108			学会立て替え等	
109	20,360	20,360	BLSO立て替え	
			流動負債	
301			未払金・未払費用(産婦人科)	373,739
304			仮受金(北産婦)	
305		60,000	仮受金(前受金・預かり金)	160,000
306			前受会費(下半期分)	135,000
307			預かり所得税	
308		70,000	未払い法人税	70,000
309		3,000	前年度繰越預り金	3,000
			資 本 金	
501			資本金	3,000,000
503			繰越剰余金	34,965,332
			費 用	
601	4,180,000	4,180,000	外注費	
602			北産婦等外注費	
603	355,061	355,061	事務用品費	
604	592,986	592,986	交際費	
605	237,507	237,507	通信費	
606	108,400	108,400	図書・印刷・新聞代	
607			地代家賃等	
608	459,163	459,163	会議費	
609	138,655	138,655	福利厚生費	
610	775,399	775,399	旅費・交通費	
612	10,000	10,000	租税公課	
614	346,806	346,806	消耗品費	
615	92,015	92,015	支払手数料	
616	36,407	36,407	水道光熱費	
617			諸謝金	
618	370,919	370,919	宣伝広告費	
619	694,770	694,770	学生等勧誘費	
620	60,000	60,000	寄付金・会費	
621			損害保険料	
622			法人税及び住民税	
			収 入	
701			会費収入	20,695,000
702			前年度会費(免除分)	
703			雑収入	
704			貸付金及び受取利息	151
	59,269,222	94,133,701	合 計	94,133,701
				59,269,222

残高試算表

借 方	勘 定 科 目	貸 方
50,811,134	資 産	
	負 債	608,739
	資本金	37,965,332
8,458,088	費 用	
	収 入	20,695,151
59,269,222	合 計	59,269,222

資料 6

2022(令和4)年度 個人社員人事異動 (一部前年度含/敬称略)

No.	氏 名	現勤務先	異動日	新勤務先
41	関 敏雄	札幌徳洲会病院	2022. 05. 31	退会 (死亡)
42	黒須 博之	小樽市立病院	2022. 06. 01	北大病院
43	良川 大晃	北大病院	2022. 06. 01	小樽市立病院
44	吉田 博		2022. 06. 30	退会
45	藤堂 幸治	北海道がんセンター	2022. 06. 30	道外転出 (2022. 9. 30 退会)
46	山村 満恵	JCHO北海道病院	2022. 09. 01	北海道がんセンター
47	渡邊 碧	江別市立病院	2022. 09. 01	市立札幌病院
48	河口 哲	札幌マタニティ・ウイメンズホ スピタル	2022. 09. 30	開院
49	青山 聖美	小樽市立病院	2022. 10. 01	北海道がんセンター
50	良川 大晃	小樽市立病院	2022. 11. 01	北大病院
51	櫻井 愛美	北大病院	2022. 11. 01	小樽市立病院
52	山田 崇弘	京都大学医学部附属病院	2022. 11. 01	北大病院臨床遺伝子診療部

※ 2022 (令和4) 年 5 月以降の人事異動

No.は総会資料の人事異動名簿からの継続

北海道周生期医療救急支援の会 (HOPPIE)

Hokkaido Organization for advancement of Pregnancy, Perinatal and Infant care and
Emergency treatment /略記: HOPPIE

ALSO (Advanced Life Support in Obstetrics)

① コース概略

- ・産科医・救急医・研修医・助産師・麻酔科医、その他医療プロバイダーのための周生期救急教育コースである。
- ・病院内で起こりうる妊産婦救急疾患を想定した実技では、共通のアルゴリズムを用いてコミュニケーションを図ることでチーム医療の推進に繋げる

② 学習内容

補助経腔分娩、肩甲難産、胎位胎向異常分娩、分娩時異常出血、妊婦蘇生
出産前リスク評価、妊娠初期・中期・後期性器出血、妊娠合併症、出産危機
の両親サポートなど

③ 資格

試験に合格すれば5年間有効
の認証を受けられる。

④ 世界的な広がり

- ・1991年考案。1993年米国
家庭医学会 (AAFP) が認可。
- ・ほとんどの米分娩施設で周産
期職員のALSO受講が義務化。
- ・2009年までに世界50カ国
以上でプロバイダーコースが
開催され10万人以上が修了。

⑤ 日本での広がり

- ・2008年金沢大学がAAFPから
セミナー運営権を取得。
- ・国内開催数は年間約50回。
- ・H30.3月までで8387名が
プロバイダーコースを取得。



① コース概略

- ・救急救命士・看護師・救急医・家庭医、その他
- ・交通事故・外傷・災害時の病院前の産科救急教育コース

② 学習内容

- ・病院前の分娩切迫への対応、肩甲難産、分娩時異常出血、新生児蘇生、
妊婦蘇生、救急車内分娩、地域での搬送を想定したディスカッションなど

③ 資格 試験に合格すれば5年間有効の認証を受けられる。



④ 日本での広がり

- ・H23.6月から日本で運営。H30.3月まで
に2583名がプロバイダーを取得
- ・東日本大震災で妊産婦搬送が急増した
ことなどを受け、災害時にも病院前救護
を応用することの重要性が指摘される。

北海道周生期医療救急支援の会

北海道で勤務するALSO/BLSOプロバイダー資格を有する産婦人科医・助産
師・救急救命士の有志で2019年3月に発足。周産期医療・救急シミュレーシ
ョンコースを通じて、妊娠・出産・新生児・乳児期の医療領域に取り組む志ある
医療従事者に対する研修を実施し、携わる医療従事者を育成することにより、
地域医療を推進し、地域住民の福祉厚生の増進に寄与することを目的とする。



避難所運営ゲーム(HUG)

① コース概略

一般市民（非医療者）を対象として、
避難所で起き得る状況の理解と適切な
対応を学ぶシミュレーション訓練

② 学習内容

特定の市の避難所運営を任されたと
いう想定のもと、避難者の状況や要望
を考慮しながら、迅速かつ適切に対応
する術を学ぶゲーム様式の訓練。

北海道周生期医療救急支援の会

Hokkaido Organization for advancement of Pregnancy, Perinatal and Infant care and
Emergency treatment /略記: HOPPIE

課題

① 金銭負担

過去道内では9回開催してきたが、北海道や札幌市から支援うけていたもののWINDからの支出は大きかった。自治体からの支援を受けやすくするため、2019年から北海道周生期医療救急支援の会を設立、顧問は渡利英道先生。構成は北海道大学、札幌医科大学、旭川医科大学の有志が集まることで自治体からの支援を受けやすくした。昨年度から札幌市から開催費用の支援があり、今年度は4回開催予定。また今年度からクラウドファンディングにも挑戦中。

② 事務局

収入、支出の事務作業が難しい。

提案

渡利教授から以下の2点を提案していただいた。

① 体制

3大学教授に顧問に就任していただき、より自治体などから支援を受けやすくする体制をつくる。

② 事務局

収入、支出の事務作業をWINDでおこなう。

北海道におけるALSO/BLSOの活動経緯と課題

ALSO/BLSOプロバイダーコース 北海道開催



- ① 定期開催されてきた道内ALSOが2017年以降開催されず
北海道では2011年よりALSOを開催して以来、年1~3回の頻度でALSOまたはBLSOコースが開催されてきた。当初道外に依存していたインストラクターも道内勤務者の割合が増加した。コースの開催は医学系大学または総合病院が主催し、主催施設・医師会等の援助のもと運営されてきた。しかし単独施設からの負担では継続が難しく、2018年よりALSO開催が見送られている（2019年道内施設ではなくOPPIC主催で開催予定あり）。
- ② 札幌市より資金援助を受け開催した北海道大学ALSO/BLSO
2016年度の北海道大学産婦人科（WIND）が主催し札幌で開催したALSO/BLSOにおいて、札幌市がその重要性に基づき50万円の補助を拠出した。
- ③ 地域のニーズに応じた「施策事業」としてのコース開催へ
ALSO/BLSOが共同で病院救急間連携を発揮し得る概念を有することから、今後地域ニーズに応じた市町村や政府施策としての事業展開を推進することで、道内でも継続的なコース開催が期待される。